

株主の皆様へ

第73期 報告書

2023年4月1日～2024年3月31日





第4次中期経営計画 継続的な成長と持続

代表取締役 社長執行役員

福家利一

株主の皆様には、平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。
当社では、2023年度を最終年度とする第3次中期経営計画を終え、このたび新たな成長へのステージへと導く第4次中期経営計画を策定いたしました。
当期の業績と第4次中期経営計画の重要施策について、株主の皆様へご報告申し上げます。

Q

**当期の事業環境および
業績はいかがでしたでしょうか。**

A

当連結会計年度における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の位置付けが5類感染症に移行したことを契機に経済活

動が正常化し、一部では緩やかな回復の動きをみせましたが、中国をはじめとした海外景気の停滞も影響し、総じて厳しい状況で推移いたしました。

当社グループを取り巻く機械器具関連業界におきましては、円安や原材料高、人件費の増加等に加え、年明けに発生した能登半島地震での

『New Dedication 2026』～新たな貢献へ～ 可能な社会の実現に取り組んでまいります。

部品調達の混乱や自動車メーカーの不正問題による生産停止などにより、底堅かった企業の設備投資意欲が慎重な姿勢となっています。

この結果、当連結会計年度におきましては、売上高1,269億1千2百万円(前年同期比3.6%減)、営業利益58億9百万円(前年同期比7.6%減)、経常利益64億3千1百万円(前年同期比4.8%減)となり、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、46億7千4百万円(前年同期比5.9%減)と減収減益となりました。

Q 第3次中期経営計画で
重点的に取り組まれたこと
をお聞かせください。

A 当期においては、第3次中期経営計画『New Dedication 2023』～新たな貢献へ～の最終年度の取り組みを着実に実行し、継続的な成長と持続可能な社会の実現に取り組

んでまいりました。

具体的には、国内各地で開催された総合展示会への出展を継続的に行い、人手不足・労働力不足といった社会課題の解決策として、工程間搬送や設備管理の自動化提案を実施いたしました。また、最新技術(AI・IoT)を活用した省エネ・外観検査、人と協働で行える半自動化・工程改善等のソリューション提案も行いました。

Q 第4次中期経営計画の概要を
お聞かせください。

A 当社グループが、「新たな事業領域の拡大」を目指し、2021年より取り組んでまいりました第3次中期経営計画『New Dedication 2023』～新たな貢献へ～の3年間が終了しました。

最終年度には経済活動も正常な状態に戻りましたが、当初の2年間はコロナ禍での事業活動

となり、これまで経験したことのない課題に対処したことで、企業として危機管理や事業戦略について新たな知見を得て一回り大きく成長できた実感しております。近年、気候変動や労働人口減少などの環境・社会課題や、変化を続ける事業環境を前に、当社グループに求められる役割は大きく変化しております。

今回新たに策定した第4次中期経営計画『**New Dedication 2026**』～新たな貢献へ～は、メインテーマを「顧客価値の最大化」としています。

これは、お取引させていただいているお客様が、市場で評価される存在であり続けていた

くために、日伝として出来る限りの支援・サポートを行うという事です。これまでの取り組みを通じて培った経験知に、お取引先様と共に開発した独自のノウハウや機能を掛け合わせた「日伝力」を余すことなく発揮するとともに、サステナビリティ経営の視点も付加することで、継続的な業績の向上を目指していきます。

また、新たに迎えた子会社とも協働し、モノづくり産業向けDXアプリケーションや業務支援クラウドサービスを「モノづくり」に関わる企業に幅広く提案することで、労働人口減少に関する課題解決に取り組み、新たな事業領域の拡大を目指します。

第4次中期経営計画『**New Dedication 2026**』～新たな貢献へ～



Q

今後の見通しを
お聞かせください。

A

今後の見通しにつきましては、円高や海外景気の停滞、2024年問題などネガティブ要素は山積しておりますが、回復の兆しが見える半導体業界や生産拠点の国内回帰、自動車生産の回復などポジティブ要素を着実に捉え、勢いのある市場での活動に注力してまいります。

こうした中で当社グループは、第4次中期経営計画『**New Dedication 2026**』～新たな貢献へ～を策定し、環境・社会価値と企業価値を両立させる経営を推進してまいります。

また、新たに子会社化した株式会社アペルザ

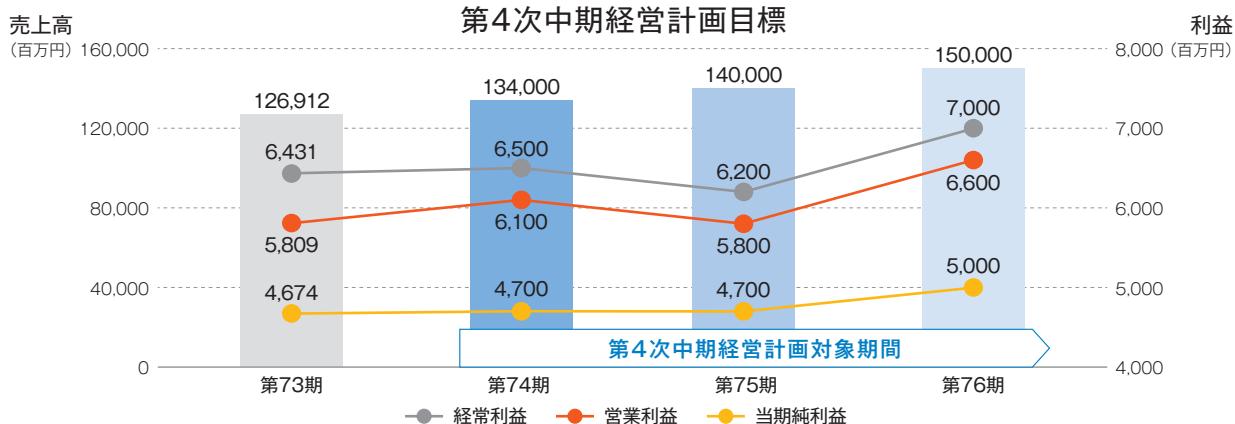
と連携し、新たなビジネスモデルの構築に取り組んでまいります。

次期の連結業績見通しにつきましては、売上高1,340億円、営業利益61億円、経常利益65億円、親会社株主に帰属する当期純利益47億円を見込んでおります。

なお、1株当たりの配当金につきましては、株主の皆様への利益還元のための機会を充実させるため、2025年3月期より中間配当を実施することとなり、中間配当30円、期末配当35円を予定しております。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2024年6月



「大阪市女性活躍リーディングカンパニー認証」取得、 「男女いきいき・元気宣言」事業者への登録

2024年3月1日に、「大阪市女性活躍リーディングカンパニー」の最高位となる「三つ星認証」と、「イクメン企業」の認証を大阪市よりいただきました。

また、2024年4月11日には、大阪府の「男女いきいき・元気宣言」事業者として、登録されました。

女性採用も年々増えており、当社での活躍が期待される女性が増えております。現状に満足せず、引き続き全社員が男女の区別なく意欲と能力に応じて様々な場面で活躍できる環境づくりに努めてまいります。



障がい者雇用の推進

2021年1月より運営スタート 枚方ファーム (ハーブ栽培)



2024年6月稼働に向け準備中 BYSN KADOMA ROASTERY (コーヒー焙煎)



すでに、2021年1月から枚方ファームをスタートしていますが、2023年11月に大阪府門真市で新規開設されたコーヒー焙煎(BYSN)に2024年6月から参画いたします。

BYSNは、珈琲の焙煎業務を行う障がい者雇用支援サービスです。珈琲豆から企業オリジナルブレンド珈琲を選別し、BYSN専用のプロ仕様焙煎機で高品質な珈琲豆を作り上げます。

株式会社プロキュバィネットを完全子会社化

2023年12月26日、PROCUEbyNETの運営会社である株式会社プロキュバィネットについて、共同運営会社である株式会社山善との合意の下、株式を100%取得し完全子会社といたしました。生産現場のMRO(サプライ商品)電子調達をサポートする会員制ポータルサイトとして、必要とされるニーズに対応し、安定した生産活動をサポートしてまいります。



株式会社アペルザを連結子会社化

2024年3月25日、月間60万人が利用する製造業向けのポータルサイトを運営する株式会社アペルザの株式を取得し、子会社といたしました。本株式の取得により、当社の情報発信・マーケティング機能が向上するとともに、当社の販売ネットワークを通じてDXアプリケーションや業務支援クラウドサービスを「モノづくり」に関わる企業に幅広く提案することで、企業のDX導入促進と労働人口減少の課題解決を実現させ、当社の提供価値を更に向上・強化してまいります。

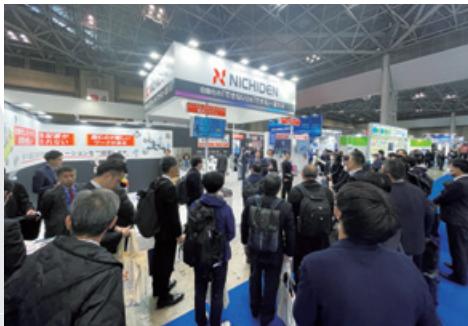


国際ロボット展2023

◆開催日 2023年11月29日(水)~12月2日(土)

◆開催場所 東京ビッグサイト

人手不足を背景にした自動化へのニーズに対して、設置スペースの制約や導入コストの問題など、自動化できない様々な課題に対する解決提案を行いました。多品種少量生産へ対応、人手作業の安全対策など自動化に興味のあるお客様にお立ち寄りいただきました。

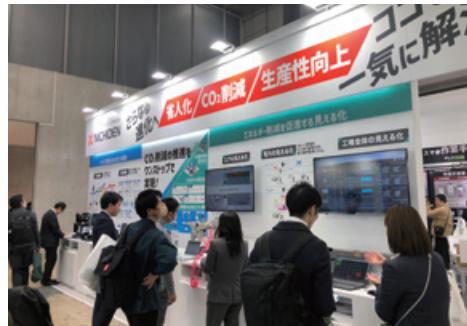


スマート工場EXPO展2024

◆開催日 2024年1月24日(水)~1月26日(金)

◆開催場所 東京ビッグサイト

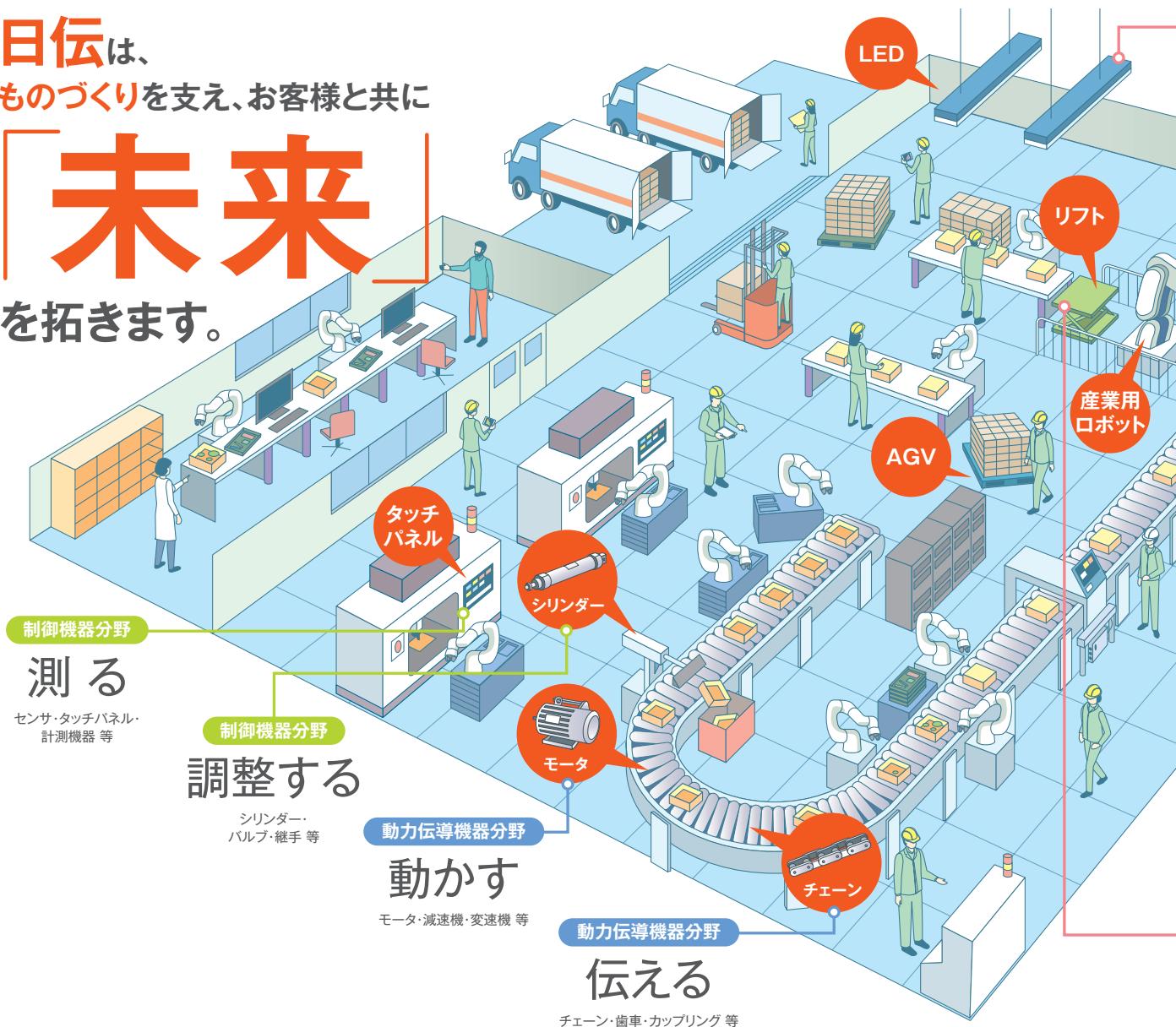
人手不足や工場DX化が加速する中、「省人化・CO₂削減」の社会課題に対して当社の強みであるコーディネート提案の展示をいたしました。「人手不足」「少量多品種」という課題から「自動化」「生産進捗管理」「帳票電子化」「工程間搬送」など具体的な困りごとをもつお客様にお立ち寄りいただきました。



日伝は、
ものづくりを支え、お客様と共に

未来

を拓きます。



制御機器分野

測る

センサ・タッチパネル・
計測機器等

制御機器分野

調整する

シリンダー・
バルブ・継手等

動力伝導機器分野

動かす

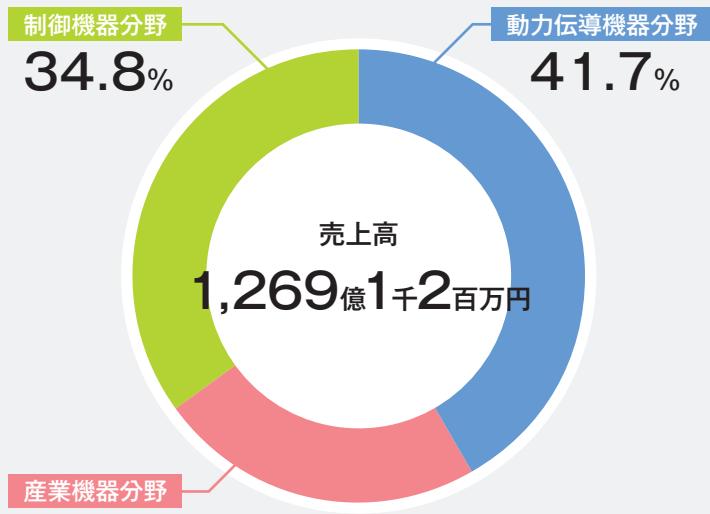
モーター・減速機・変速機等

動力伝導機器分野

伝える

チェーン・歯車・カップリング等

事業分野別売上高・構成比



動力伝導機器分野

動力伝導機器分野では、精密減速機、伝導用ベルト、クラッチ・ブレーキ等が伸び悩んだ結果、売上高530億1千4百万円(前年同期比7.3%減)となりました。

産業機器分野

産業機器分野では、コンベヤ関連機器、システム関連機器が伸び悩んだ結果、売上高297億5千7百万円(前年同期比0.8%減)となりました。

制御機器分野

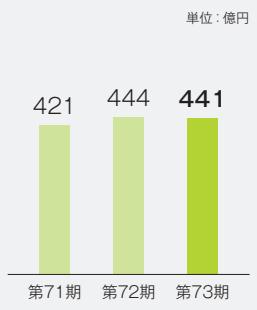
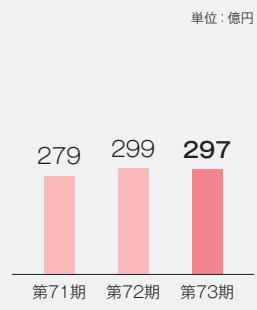
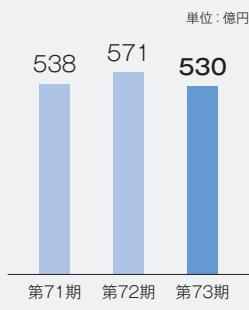
制御機器分野では、サーボモータ、センサー、ロボット関連機器等が伸び悩んだ結果、売上高441億4千万円(前年同期比0.7%減)となりました。

動力伝導機器分野

回す・送る
ハンドル・ベアリング・直動案内機器 等

産業機器分野

運ぶ
コンベヤ・AGV・リフト・キャスター 等



CONSOLIDATED FINANCIAL HIGHLIGHTS

連結業績ハイライト

連結貸借対照表(要旨)

(単位：百万円)

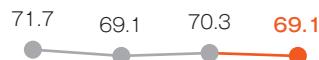
科目	第73期 2024年3月31日現在	第72期 2023年3月31日現在
資産の部		
流動資産	84,868	82,179
固定資産	42,688	40,626
資産合計	127,556	122,806
負債の部		
流動負債	30,686	28,582
固定負債	8,676	7,904
負債合計	39,363	36,486
純資産の部		
株主資本	80,783	80,439
その他の包括利益累計額	7,410	5,880
純資産合計	88,193	86,319
負債純資産合計	127,556	122,806

連結損益計算書(要旨)

(単位：百万円)

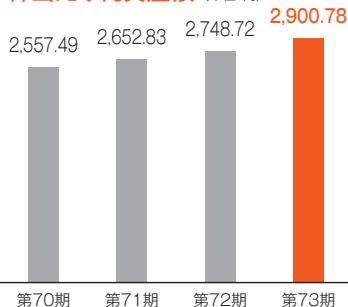
科目	第73期 2023年4月1日から 2024年3月31日まで	第72期 2022年4月1日から 2023年3月31日まで
売上高	126,912	131,609
売上原価	107,816	112,042
売上総利益	19,096	19,567
販売費及び一般管理費	13,286	13,280
営業利益	5,809	6,287
営業外収益	887	794
営業外費用	265	324
経常利益	6,431	6,756
特別利益	465	449
特別損失	50	—
税金等調整前当期純利益	6,847	7,206
法人税、住民税及び事業税	2,190	2,303
法人税等調整額	△17	△64
当期純利益	4,674	4,967
親会社株主に帰属する当期純利益	4,674	4,967

自己資本比率 (単位：%)



第70期 第71期 第72期 第73期

1株当たり純資産額 (単位：円)



第70期 第71期 第72期 第73期

1株当たり当期純利益 (単位：円)



第70期 第71期 第72期 第73期

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨) (単位:百万円)

科 目	第73期	第72期
	2023年4月1日から 2024年3月31日まで	2022年4月1日から 2023年3月31日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	5,023	2,116
投資活動による キャッシュ・フロー	△2,432	46
財務活動による キャッシュ・フロー	△4,890	△2,491
現金及び現金同等物に 係る換算差額	136	45
現金及び現金同等物の 増減額(△)	△2,163	△283
現金及び現金同等物の 期首残高	15,368	15,652
新規連結に伴う現金及び 現金同等物の増加額	353	—
現金及び現金同等物の 期末残高	13,557	15,368

財務情報の詳細は、
当社ホームページIR情報をご覧ください。



<https://www.nichiden.com/ir/>



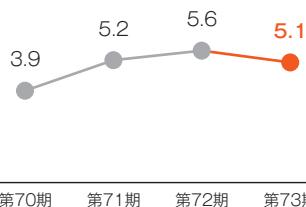
スマートフォン等の
QRコード読み取り機能を利用して、
サイトにアクセスすることができます。

QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。

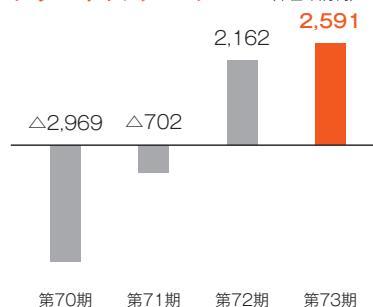
自己資本当期純利益率(ROE) (単位:%)



総資産経常利益率(ROA) (単位:%)



フリーキャッシュ・フロー (単位:百万円)



国内外の拠点を繋いで、
ものづくり支援のネットワークを構築しています。

中国

連結子会社

日伝国際貿易(上海)有限公司
天津分公司 平湖分公司 東莞分公司
蘇州分公司 大連事務所

ベトナム

NICHIDEN VIET NAM CO.,LTD
HANOIBRANCH
HAIPHONGOFFICE

タイ

NICHIDEN TRADING(Thailand)Co.,Ltd.
NICHIDEN(Thailand)Co.,Ltd.
SRIRACHABRANCH

アメリカ

NICHIDEN USA Corporation

西部ブロック

大阪支店

滋賀営業所	姫路営業所	四国営業所
京都営業所	岡山営業所	九州支店
堺営業所	福山営業所	北九州営業所
神戸営業所	広島営業所	熊本営業所

子会社

株式会社空間洗浄Lab.
株式会社プロキュバインネット

東部ブロック

東京支店

札幌営業所	水戸営業所	千葉営業所
北上営業所	小山営業所	横浜営業所
仙台営業所	高崎営業所	南関東営業所
郡山営業所	埼玉営業所	西東京営業所
新潟営業所	上田営業所	

連結子会社

エヌピーエーシステム株式会社
株式会社アベルザ

中部ブロック

名古屋支店

富山営業所	浜松営業所	小牧営業所
北陸営業所	豊橋MEシステム	鈴鹿営業所
松本営業所	岡崎営業所	八日市支店
静岡営業所	刈谷営業所	

連結子会社

岡崎機械株式会社

物流センター



東部物流センター



中部物流センター



小牧物流センター



西部物流センター



東大阪物流センター



テクノセンター

テクノセンター

会社の概要

(2024年3月31日現在)

商号	株式会社 日伝
英文社名	NICHIDEN Corporation
設立	1952年1月26日
本社所在地	大阪市中央区上本町西一丁目2番16号
資本金	53億6千8百万円
従業員数	885名(連結998名)
関係会社	岡崎機械株式会社 株式会社空間洗浄Lab. エヌピーエーシステム株式会社 株式会社プロキュバィネット 株式会社アベルザ 日伝国際貿易(上海)有限公司 NICHIDEN TRADING(Thailand) Co.,Ltd. NICHIDEN(Thailand) Co.,Ltd. NICHIDEN VIET NAM CO.,LTD NICHIDEN USA Corporation

取締役

(2024年6月21日現在)

代表取締役 社長執行役員	福家 利一
代表取締役 専務執行役員	岡本 賢一 営業統括
取締役 常務執行役員	寒川 睦志 管理本部長
取締役 常務執行役員	森田 淳二 営業推進本部長
取締役 上席執行役員	佐々木 一 西部ブロック長
取締役(常勤監査等委員)	檜垣 泰雄
取締役(監査等委員)	古田 清和
取締役(監査等委員)	川上 勝
取締役(監査等委員)	寺嶋 康子

(注)取締役(監査等委員)古田清和、川上勝及び寺嶋康子の各氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。なお、古田清和、川上勝及び寺嶋康子の各氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。

株式の状況

(2024年3月31日現在)

発行可能株式の総数	126,000,000株
発行済株式の総数	30,403,364株 (自己株式482,636株を除く。)
株主数	8,442名

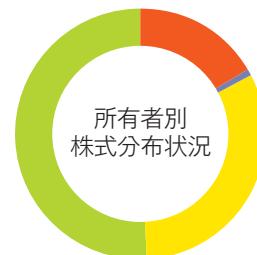
大株主(上位10名)

	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日伝共栄会	3,820	12.56
日伝仕入先持株会	2,432	7.99
株式会社利双企画	1,700	5.59
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,395	4.58
株式会社百十四銀行	982	3.22
日伝従業員持株会	908	2.98
西木 進	830	2.72
西木 利彦	825	2.71
株式会社ニシキ興産	747	2.45
株式会社みずほ銀行	700	2.30

(注) 持株比率は自己株式(482,636株)を除いて計算しております。

株式分布状況

■ 金融機関	17名	5,086,100株	16.47%
■ 証券会社	21名	273,797株	0.89%
■ 法人	396名	9,852,071株	31.90%
■ 個人その他	8,008名	15,674,032株	50.74%



株式情報

株主還元策を充実いたしました

■中間配当の実施

株主の皆様への利益還元の機会をより一層充実させるため、以下のとおり中間配当の実施をいたします。

	中 間	期 末	合 計
2024年3月期(実績)	—	65円	65円
2025年3月期(予想)	30円	35円	65円

■株主優待制度の一部変更

株主の皆様の日頃からのご支援に感謝するとともに、当社株式への投資の魅力を高め、多くの方々に当社株式を保有いただけるよう、株主優待制度を実施しております。この度、当社株式を継続的に保有いただくことを目的に、優待制度の内容を一部変更いたします。

基準日／毎年9月30日

100株以上
1,000株未満

半生讃岐うどん包丁切り
詰め合わせ 300g×3袋(9人前)
石丸製麺株式会社



1,000株以上

こだわり厳選セット
無洗米2kg詰め 3バック
幸南食糧株式会社



贈呈時期／毎年12月

2025年3月31日以降 基準日／毎年3月31日

(継続保有期間1年以上)
100株以上1,000株未満

(継続保有期間1年以上)
1,000株以上

社会貢献寄付金付QUOカード

2,000円分

5,000円分



(注)このQUOカードには、社会貢献寄付金として「緑の募金」が付いており、公益社団法人国土緑化推進機構へ寄付され、集められた寄付金は、緑化推進に役立てられます。

贈呈時期／毎年6月

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から 翌年3月31日までの1年
剰余金の 配当基準日	3月31日 (中間配当を行う場合は9月30日)
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
公告方法	電子公告といたします。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法といたします。
証券コード	9902
株主優待制度	毎年9月30日および3月31日現在の株主名簿に記載または記録された所有株式数100株以上の株主様に対して当社指定粗品を贈呈いたします。

注) 株主優待制度の内容を一部変更いたします。詳細はP14を参照ください。

証券会社等に
口座をお持ちの場合

証券会社等に
口座をお持ちでない場合
(特別口座の場合)

郵便物送付先	お取引の証券会社等になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行 証券代行部
お問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
各種手続 お取扱店 (住所変更、株式配 当金受取り方法の 変更等)		みずほ信託銀行 本店および全国各支店* *トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。
株主総会資料の 電子提供制度 (書面交付請求) についてのお 問い合わせ	お取引の証券会社 または右記 みずほ信託銀行 までお問い合わせ 願います。	電子提供制度専用ダイヤル 0120-524-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
未払配当金の お支払	みずほ信託銀行*および みずほ銀行の本店および全国各支店 *トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・お問い合わせ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。
株式等に関する マイナンバーの お届出のお願い	<ul style="list-style-type: none"> ・株式等の税務関係のお手続に関しては、マイナンバーのお届出が必要です。 ・お届出が済んでいない株主様は、上記お問い合わせ先へマイナンバーのお届出をお願いします。 	

日伝ホームページ

<https://www.nichiden.com/>

スマートフォン等のQRコード読み取り機能を利用して、サイトにアクセスすることができます。



QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。



モノづくりの困ったを解決する総合サイト

MEKASYS
www.mekasys.jp

「MEKASYS」は、株式会社日伝の登録商標第5354848号です。

